

小金丸 泰仙 先生 講演会
「こころの構造」

1. 小金丸先生はこの講演会でどのようなことをおっしゃっていましたか。

「熏習」は「自己」が第一で、自分の経験は「自己」に染み込んでいく。我々には「自己」の面があり、自己中心的な考え方をなくすることは「困難」があるので「真の平等」を望むのは大変難しい。

2. この講演会を通して感じたことは何ですか？

自分の「自己」を含む、本当の自分を知らなかったこと、大事にして思っていた、人間の根本的な部分は善でも悪でもない、表面的な部分だけを見れば善悪を区別してはいたけれど、深く思って。

3. そう感じたあなたは、どのような考えや気持ちを大切にしているのだと思いますか？

他人、または自分について深く知って、その人の気持ちに寄り添うことを大切にしているのだと思います。

4. この講演会から学んだこと、今後生かせることは何ですか。

無意識に行う自分の言動を大切にすることが大切だということ、自分が「自己」に染み込んで、自分だけの人間になるのではなく、自分以外の人間になることを大切に思っています。

唯識論の
心
の
構造